

6A
悩んでいる親たち、教育関係者、司法関係者、地域の皆さん、みんな集まって

19回「非行」「子どもの問題」を考える 親たちのつとめ

取材許可まで6年、撮影2年
初めて日本の刑務所にカメラを入れた
庄巻のドキュメンタリー

DIRECTED BY KAORI SAKAGAMI

PRISON プリズン・サークル CIRCLE

ぼくたちがここに
いる
本当の理由

www.prison-circle.com

監督・制作・編集：坂上香 | 撮影：南幸男 坂上香 | 録音：森英司 | アニメーション監督：若見ありさ | 音楽：松本祐一 鈴木治行
製作：out of frame | 配給：東風 | 2019年/日本/136分/DCP/ドキュメンタリー ©2019 Kaori Sakagami



2023年1月28日(土)

青少年交流・活動支援スペース 第1研修室

桜木町びおシティ6F(桜木町駅前 JR 京浜東北・根岸線/市営地下鉄)

主催 かながわ「非行」と向き合う親たちの会(道草の会)

問合せ先:海老名市中央3-3-28-107 ゆうゆう内 電話 090-8313-2358(上田)
メールアドレス michikusanokai@yahoo.co.jp HPアドレス <http://michi.grupo.jp/>

後援 NPO 法人非行克服支援センター

2023年1月28日(土)

映画上映時間 ①10:30～ ②14:30～

体験報告 14:00～

*映画館とは違い、会議室での上映になりますのでご了解下さい。

*元当事者の方に、当時の思い、今の思いをお話しいただきます。

*13時40分～ 道草の会の総会 会員のみなさんはご参加下さい

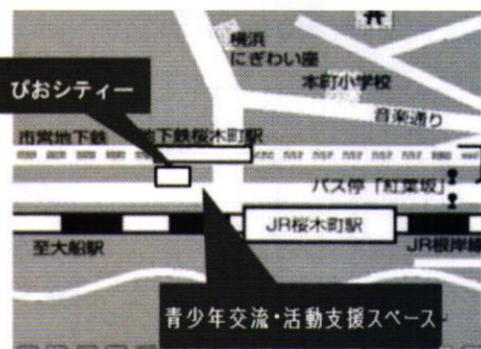
*どなたでもご参加いただけますが、事前申込みにご協力下さい。

申込フォーム:<https://ws.formzu.net/dist/S46987186/>
TEL:090-8313-2358

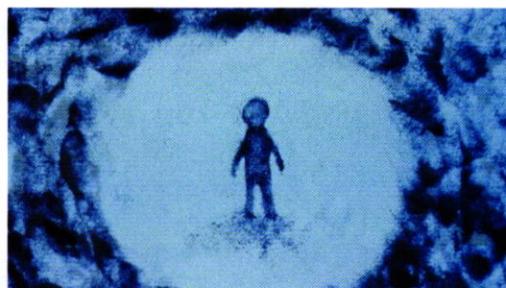
申込フォーム→



資料代 800円



過熱する犯罪報道、
厳罰化を叫ぶ声—
けれど私たちは、
この国の「罪」と「罰」について
多くを知らない。



(C)2019 Kaori Sakagami

島根あさひ社会復帰促進センター」は、官民協働の新しい刑務所。警備や職業訓練などを民間が担い、ドアの施錠や食事の搬送は自動化され、ICタグとCCTVカメラが受刑者を監視する。

しかし、その真の新しさは、受刑者同士の対話をベースに犯罪の原因を探り、更生を促す「TC(Therapeutic Community=回復共同体)」というプログラムを日本で唯一導入している点にある。

なぜ自分は今ここにいるのか、いかにして償うのか？ 彼らが向き合うのは、犯した罪だけではない。幼い頃に経験した貧困、いじめ、虐待、差別などの記憶。痛み、悲しみ、恥辱や怒りといった感情。

そして、それらを表現する言葉を獲得していく…。